

北海道立
アイヌ民族文化研究センター
年報

2010
(平成22年度)

北海道立アイヌ民族文化研究センター
2011年6月

目 次


1	設置目的	p 1
2	沿 革	p 1
3	組織・体制	p 3
4	施設・設備	p 4
5	事業概要	p 5
	調査研究事業	
	資料・情報収集事業	
	公開・提供事業	
	普及事業	
6	所蔵資料の概要	p10
7	平成 2 2 年度事業実績	p12
	調査研究事業	
	資料・情報収集事業	
	公開・提供事業	
	普及事業	
8	参考資料	p19
	北海道立アイヌ民族文化研究センター条例	
	北海道立アイヌ民族文化研究センター条例施行規則	

1 設置目的

アイヌ文化は、アイヌの人々が長い歴史の中で育んできたものであり、今日の北海道の文化にも有形、無形の多くの影響を与えています。

北海道立アイヌ民族文化研究センターは、アイヌの人々をはじめ道民全体の貴重な財産であるアイヌ文化に関する調査研究等を行い、その成果の普及等を図り、もってアイヌ文化の振興に寄与することを目的として設置されました。

2 沿革

1991(平成3)年	北海道知事が「アイヌ民族文化研究センター」設置構想を表明
1994(平成6)年3月31日	「北海道立アイヌ民族文化研究センター条例」公布
6月1日	開設(札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7ビル 5階)
13日	開設記念式典
7月	「山田秀三文庫」受贈
9月	広報紙「アイヌ民族文化研究センターだより」1号発行
	
	開設記念式典(1994年6月13日)
1995(平成7)年3月	「北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要」1号発行
1996(平成8)年3月	アイヌ文化紹介小冊子「ボン カンピソシ」1冊目発行
	「山田秀三文庫図書資料目録 北海道立アイヌ民族文化研究センター資料目録1」発行
1997(平成9)年1月	「バラートシ・アイヌコレクション展」開催 1月16日～2月9日 北海道開拓記念館 3月1日～3月16日 帯広百年記念館 ハンガリー国立民族学博物館、北海道開拓記念館、帯広百年記念館との共催
1997(平成9)年4月	防音室、図書資料室設置
6月	「久保寺逸彦文庫」受贈
2001(平成13)年9月	ホームページ開設
2003(平成15)年4月	採録音声資料の公開開始
2004(平成16)年4月	山田秀三文庫、久保寺逸彦文庫の公開開始(音声資料より開始)
2004(平成16)年9月	「北海道立アイヌ民族文化研究センター年報」刊行開始
2004(平成16)年10月	企画展「アイヌ語地名を歩くー山田秀三の地名研究からー」開催 10月30日～11月28日 北海道立文学館 北海道立文学館との共催
2005(平成17)年3月	「北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書1」発行

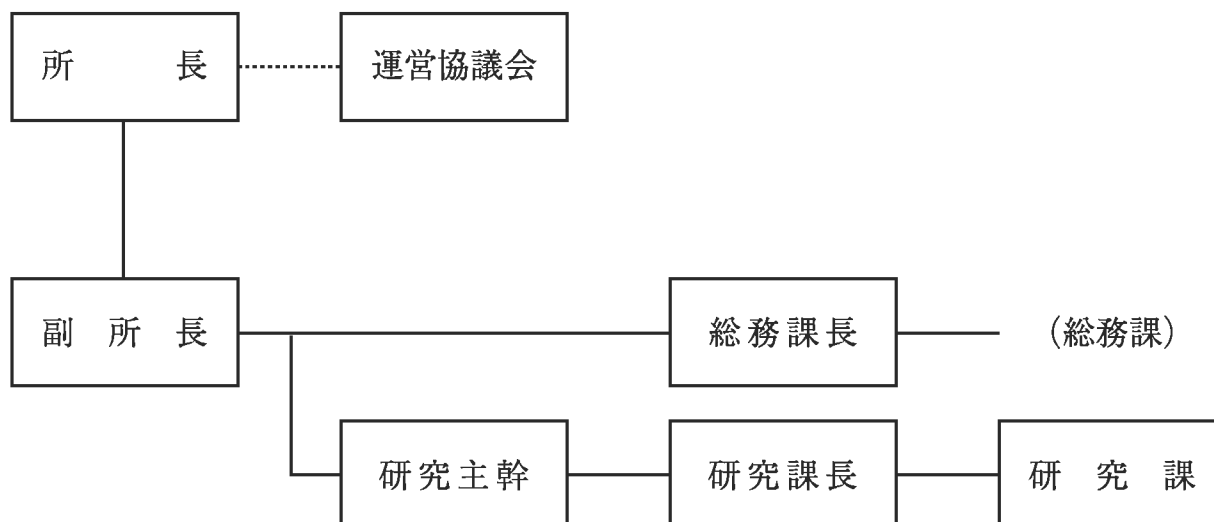
- 2005(平成17)年7月 企画展「アイヌ語地名を歩く－山田秀三の地名研究から－ 2005・旭川」
開催
7月2日～8月21日 旭川市博物館
旭川市博物館との共催
- 2006(平成18)年9月 企画展「アイヌ語地名を歩く－山田秀三の地名研究から－
2006・釧路/十勝」開催
9月2日～9月24日 釧路市立博物館
釧路市立博物館との共催
9月30日～10月15日 帯広百年記念館
帯広百年記念館との共催
- 2007(平成19)年8月 企画展「アイヌ語地名を歩く－山田秀三の地名研究から－
2007・胆振/日高」開催
9月2日～9月22日 苫小牧市市立中央図書館
苫小牧市博物館・苫小牧市立中央図書館との共催
9月27日～10月8日 室蘭市文化センター
室蘭市教育委員会との共催
10月11日～14日 だて歴史の杜カルチャーセンター
伊達市教育委員会との共催
このほか、財団法人アイヌ民族博物館、平取町立二風谷アイヌ文
化博物館、日高町立門別図書館郷土資料館にてミニ展示を開催
- 2008(平成20)年10月 企画展「アイヌ語地名を歩く－山田秀三の地名研究から－
2008・渡島/檜山/津軽海峡」開催
10月9日～11月16日 市立函館博物館
10月7日～10月18日 函館市中央図書館(パネルによるミニ展示)
市立函館博物館との共催
- 2009(平成21)年3月 札幌市中央区北1条西7丁目プレスト1・7ビル5階から、
同北3条西7丁目1番地 ^{りょくえん} 緑苑ビル1階(北海道庁緑苑ビル庁舎)に移転
- 2009(平成21)年5月 企画展「語り、継ぐ。－アイヌ口承文芸の世界」開催
5月30日～7月20日 北海道立文学館
北海道立文学館・財団法人北海道文学館との共催、北海道大学ア
イヌ・先住民研究センター特別協力
- 2009(平成21)年9月 ロビー展「アイヌ語地名を歩く－山田秀三文庫の資料から－
2009・札幌」開催
9月7日～11日 北海道庁本庁舎1Fロビー (道民ホールB)
- 2010(平成22)年8月 企画展「アイヌ語地名を歩く－山田秀三の地名研究から－
2010・小樽/せたな」開催
8月28日～10月3日
小樽市総合博物館運河館
9月11日～9月26日
せたな町情報センター
小樽市総合博物館、せたな
町教育委員会との共催



3 組織・体制

3-1 組織（平成22年4月1日現在）

研究センターは、環境生活部総務課の出先機関です。直接の所管は、環境生活部アイヌ政策推進室です。



* 運営協議会は、学識者など現員8名の委員からなり、研究センターの運営のあり方、事業計画、事業の推進その他研究センターの運営に必要な事項について協議を行い、研究センター所長に対して意見を述べます。（毎年1回開催）

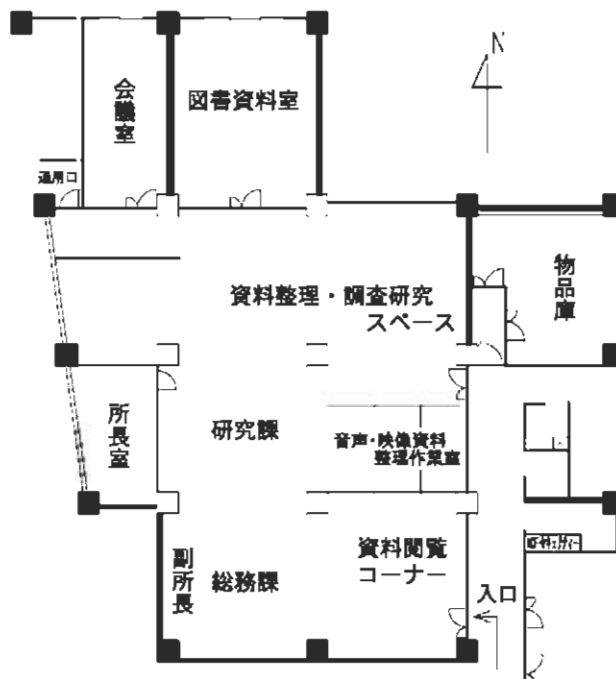
3-2 現員（平成22年4月1日現在）

所長	1名（非常勤）
副所長	1名（行政職）
研究主幹	1名（研究職）
総務課 課長	1名（行政職）
研究課 課長	1名（研究職）
研究職員	4名（研究職）
研究職員	2名（非常勤）
臨時職員	1名（5ヶ月）

4 施設・設備

所在地 札幌市中央区北3条西7丁目1番地 緑苑ビル 1階
(緑苑ビル1階の北海道庁緑苑ビル庁舎内です)

面積 432.4㎡



音声・映像資料整理作業室

録音・録画資料を再生・編集する機材を備え、音声資料や映像資料の内容点検・整理、保存作業を行います。



図書資料室

他の機関等から寄贈を受けた図書、研究センターが購入等により収集した図書等を保管しています。



資料閲覧コーナーの書架と
視聴用パソコン

研究センターの出版物や公開した文書資料・写真資料の閲覧用複製のほか、北海道・北海道教育委員会その他関係機関の出版物等を排架しています。研究センターで公開している音声・映像資料を視聴するためのパソコンを備えています。

5 事業概要

設置目的の実現のため、「調査研究事業」「資料・情報収集事業」「公開・提供事業」「普及事業」の4つの柱に沿って事業を進めています。

5-1 調査研究事業

アイヌ文化の中でも無形文化として受け継がれてきた、言語、物語や歌謡などの口頭伝承、信仰や儀式の作法、生活用具の製作方法・使用法、自然資源の利用法など、言語、芸能、生活技術の各分野と、これらの理解と調査に欠かせない歴史について、現地調査を進めるとともに、収集した資料の分析研究を行っています。

これらの成果は、『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』等の出版物や講演会・講座等の事業、その他様々な媒体を通して提供につとめています。

[研究課題の設定と評価の実施]

調査研究事業については、各分野で、または相互に連携して研究課題を設定し、その計画に沿って進めています。

研究課題の設定及び実施に当たっては、毎年所定の時期に、課題の意義、研究計画の立案と進捗状況、成果とその提供のあり方などについて、点検・評価を行っています。

平成21年度までの評価結果については、当研究センターのホームページに掲載しています。

[『研究紀要』及び『調査研究報告書』の発行]

研究センターにおける調査研究の成果の発表のため、『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』を発行しています。また、アイヌ文化研究に関するすぐれた研究成果や貴重な資料の紹介のため、必要に応じて、外部の識者に寄稿を依頼しています。

研究センターにおける調査研究の中でも、中・長期的な研究課題の成果などで、ある程度まとまったかたちで提供すべきものについては、一冊の報告書にとりまとめ、『北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書』として発行しています。

『研究紀要』は、開設年度から毎年1回発行。

『調査研究報告書』は、2004（平成16）年度から、研究成果のとりまとめ状況を踏まえて随時（おおむね毎年1回）刊行。

◆研究紀要、調査研究報告書の刊行実績と掲載原稿の点数など

年度	1994(H6)~ 2003 (H15)	2004 (H16)	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	計	
研究紀要	(号数)	1~10	11	12	13	14	15	16	17	
	論文	25(7)	2	2	1	3(1)	2	1	1	37(8)
	研究ノート	14(1)	1	0	1	0	0	1(1)	1(1)	18(3)
	調査報告	21	1	1	0	0	0	0	1	24(0)
	翻訳・ 資料紹介	12(4)	2(2)	2(2)	3(3)	1(1)	2(1)	2	0	24(13)
	その他 (講演記録 など)	0	2(2)	0	0	0	0	0	1	3(2)
調査研究報告書	(号数)		1	2	3	4	5	6	6	
	テーマ		ピリカ会関係資料の調査研究	旭川地方に伝承されるアイヌの座り歌・踊り歌についての調査研究	アイヌ語十勝方言の基礎語彙	吉田巖香誌	鶴川地方に伝承されるアイヌの音楽についての調査研究	【北東日報】 【網路新聞】 掲載アイヌ関係記事(1901~42年)：目録と紹介		

注：カッコ内は外部執筆者に対する依頼原稿で内数。(職員と外部執筆者との共同執筆の場合を含む)

5-2 資料・情報収集事業

道内外の関係機関や研究者等との連携を図り、アイヌ文化に関する資料の所在調査を行い、資料の収集・保存・整理作業を行うとともに、アイヌ文化に関する学術情報の収集を進めています。

【研究センターにおける資料の収集】

調査研究等の事業に必要な資料を中心に、アイヌ文化に関する文献、視聴覚資料等を収集しています。

【寄贈を受けた資料の整理と資料目録の発行】

寄贈を受けた貴重な資料である、山田秀三文庫及び久保寺逸彦文庫については、整理・保存作業を進めるとともに、資料目録を発行しました。

◆これまでに発行した資料目録

No.	目録の内容	発行年月日、判型等
山田秀三文庫		
1	図書資料目録	1996(平成8)年3月27日発行 B5判 246ページ
2	音声・映像資料目録	1997(平成9)年3月25日発行 B5判 119ページ
4	文書資料目録Ⅰ(ファイル)	2000(平成12)年3月24日発行 B5判 114ページ
6	文書資料目録Ⅱ(地図)	2001(平成13)年9月28日発行 B5判 152ページ
8	文書資料目録Ⅲ(その他)・写真資料目録	2003(平成15)年9月30日発行 B5判 227ページ
久保寺逸彦文庫		
3	図書資料目録	1999(平成11)年3月25日発行 B5判 144ページ
5	文書・写真資料目録	2001(平成13)年9月28日発行 B5判 165ページ
7	音声・映像資料目録	2002(平成14)年9月30日発行 B5判 104ページ



[道及び道内市町村が所蔵する資料の整理・保存]

道内などに所在するアイヌ文化に関する貴重な資料について、所蔵機関・所蔵者や市町村等と連携を図りつつ、資料の内容調査や保存処理、整理作業を行い、データの収集と蓄積を進めています。

◆近年の実績については16ページ



音声資料（オープンリールテープ）の内容点検



写真資料（ガラス乾板）の保存

5-3 公開・提供事業

山田秀三文庫、久保寺逸彦文庫や、研究センターの調査研究事業等において伝承者、体験者等からの聞き取り調査等により採録した資料について、整理・保存作業を終え準備の整ったものから順次公開を進めています。

また、収集した学術情報についても、整理し蓄積したものを提供できるよう準備を進めています。

[資料の公開]

録音テープ、映像フィルム、調査ノート、写真などの資料について、アイヌの文化や歴史に関する学習・伝承・調査研究の資料として広く活用できるよう、資料の公開・利用に向けた作業を進めています。

新たに資料を公開する際には、まずその内容確認を行い、プライバシー情報の有無などを点検し、公開する範囲などについて語り手など資料の関係者と協議することとしています。

公開した資料は、音声・映像資料についてはCDまたはDVD、文書資料や写真資料については複製を作成して、研究センターにおいて閲覧・視聴できるようにしています。

◆公開資料の点数等については16ページ

【研究情報の提供】

アイヌ文化に関する図書・論文、新聞記事等の情報や、道内外に所在する伝統的な民具などのデータの収集を進めています。蓄積した情報については、研究センターに寄せられるレファレンス（→9ページ）に際して情報資源として活用するとともに、目録や参考資料一覧などのかたちで広報紙やホームページに掲載する等、順次、提供の方法と範囲を広げています。

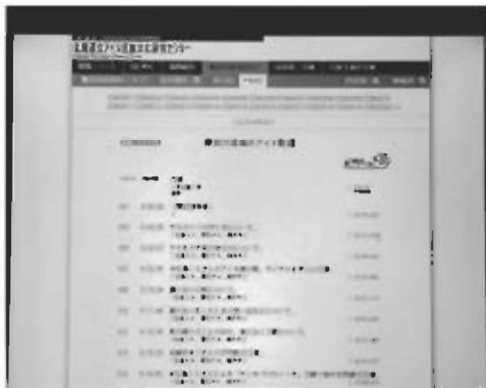


音声資料の公開用資料



文書・写真資料の公開用資料

音声・映像資料：テープ、フィルム → デジタルデータ化 → 公開用CD・DVDを作成
文書・写真資料：ノート、写真 → 写真撮影による複製 → デジタルデータ化 →
公開用カラースリットを作成



音声・映像資料の公開資料の視聴用画面

画面に資料の目次が表示されているようです。



文書・写真資料の公開用資料

資料番号ごとに冊子にまとめて排架しています。

5-4 普及事業

調査研究事業及び資料・情報収集事業の成果に基づき、アイヌ文化に関する正確な情報をわかりやすく提供するとともに、研究センターの事業内容を紹介するため、アイヌ文化を紹介する小冊子の発行、広報紙の発行、インターネット上のホームページの開設、資料展や講演会・講座の開催等を行っています。

【アイヌ文化紹介小冊子の発行】

国連の定めた「世界の先住民の国際10年」（1994年12月～2004年12月）の記念事業として、アイヌ文化に関する専門的な内容をわかりやすく親しみやすいかたちで紹介した小冊子を、毎年1冊ずつ発行しました。

これらの小冊子は、関係機関及び道内すべての小中高等学校及び特別支援学校等に配付するとともに、アイヌ文化に関する学習のため希望する方々に配付しています。

学習のための参考文献・施設に関する情報については、随時、追補の情報をまとめ、ホームページに掲載する等の措置をとっています。

◆アイヌ文化紹介小冊子 発行一覧

	タイトル (テーマ)	発行年月日	判型等	当初発行部数	増刷
1	はなす (アイヌ語)	1996(平成8)年3月	A5判、32ページ	10,000	2刷：平成15年3月 (1,000部) 3刷：平成19年3月 (500部) 4刷：平成22年3月 (2,000部)
2	着る (衣服)	1997(平成9)年3月	A5判、32ページ	10,000	2刷：平成15年3月 (500部) 3刷：平成19年3月 (500部) 4刷：平成22年3月 (2,000部)
3	食べる (食事)	1998(平成10)年3月	A5判、32ページ	10,000	2刷：平成22年3月 (2,000部)
4	住まい	1999(平成11)年3月	A5判、32ページ	10,000	2刷：平成23年2月 (2,000部)
5	祈る (信仰)	1999(平成11)年11月	A5判、32ページ	10,000	
6	口頭文芸	2000(平成12)年10月	A5判、32ページ	10,000	
7	芸能	2001(平成13)年9月	A5判、32ページ	10,000	
8	民具	2002(平成14)年9月	A5判、32ページ	10,000	
9	地名	2004(平成16)年2月	A5判、32ページ	6,000	2刷：平成20年3月 (1,000部) 3刷：平成23年2月 (2,000部)
10	総集編	2005(平成17)年3月	CD-ROM	5,000	
計				91,000	13,500

【広報媒体の作成・発行】

研究センターの事業内容の紹介やアイヌ文化に関する情報提供を主な目的として、広報紙『アイヌ民族文化研究センターだより』を発行するとともに、研究センターの事業内容とその実績を年度ごとにまとめた『北海道立アイヌ民族文化研究センター年報』を発行しています。

また、インターネット上にホームページを開設し、研究センターの事業のあらましや出版物の内容紹介のほか、アイヌ文化に関する連載記事や研究センターにおいて公開している資料の目録・目次を掲載する等、研究センターからの情報提供を行っています。

【普及啓発事業】

アイヌ文化に関する理解の促進を図るため、研究センターが所蔵する山田秀三文庫や久保寺逸彦文庫の整理作業の成果を踏まえた資料展を開催するとともに、関連事業として講演会や講座などを開催しています。

また、道が独立行政法人科学技術振興機構と共催し毎年1回開催している「サイエンスパーク」に参加しているほか、関係機関や伝承団体等からの研究センター職員の講師派遣の依頼については、研究センターの調査研究事業等の成果を提供する機会として対応しています。

【レファレンス その他】

アイヌ文化の学習、伝承活動、調査研究等への支援の一環として、参考となる文献や資料とその所在等に関する問い合わせ（レファレンス）に対応しています。

また、資料閲覧コーナーに研究センター及び道・関係機関の出版物等を備え、閲覧に供しています。

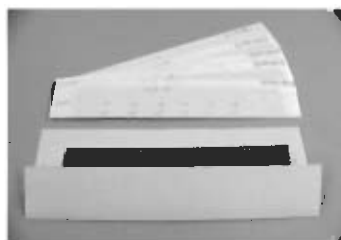
6 所蔵資料の概要

[研究センター資料点数一覧] (平成23年3月31日現在)

区分	平成21年度末時点の資料点数				平成22年度の収集(増加)点数				平成22年度末時点の資料点数			
	原資料	保存用複製 (バックアップ)	公開用複製	計	原資料	保存用複製 (バックアップ)	公開用複製	計	原資料	保存用複製 (バックアップ)	公開用複製	計
図書資料												
研究センター収集	13,617	0	0	13,617	667	0	0	667	14,284	0	0	14,284
山田秀三文庫	5,513	0	0	5,513	0	0	0	0	5,513	0	0	5,513
久保寺逸彦文庫	2,773	0	0	2,773	0	0	0	0	2,773	0	0	2,773
小計	21,903	0	0	21,903	667	0	0	667	22,570	0	0	22,570
音声・映像資料							0					
研究センター収集												
購入・受贈等によるもの	398	3	0	401	10	0	0	10	408	3	0	411
他機関所蔵の複写によるもの	711	0	3	714	0	0	3	3	711	0	6	717
職員の採録等によるもの	715	577	202	1,494	0	0	15	15	715	577	217	1,509
山田秀三文庫	531	171	45	747	0	0	3	3	531	171	48	750
久保寺逸彦文庫	779	253	87	1,119	0	0	17	17	779	253	104	1,136
小計	3,134	1,004	337	4,475	10	0	38	48	3,144	1,004	375	4,523
文書資料												
研究センター収集												
購入・受贈等によるもの	4	0	0	4	0	0	0	0	4	0	0	4
他機関所蔵の複写によるもの	221	29	0	250	0	0	0	0	221	29	0	250
山田秀三文庫	1,672	434	0	2,106	0	0	0	0	1,672	434	0	2,106
久保寺逸彦文庫	868	10	0	878	0	0	0	0	868	10	0	878
小計	2,765	473	0	3,238	0	0	0	0	2,765	473	0	3,238
写真資料												
研究センター収集	19	0	0	19	0	0	0	0	19	0	0	19
山田秀三文庫	616	139	0	755	0	0	0	0	616	139	0	755
久保寺逸彦文庫	643	36	0	679	0	0	0	0	643	36	0	679
小計	1,278	175	0	1,453	0	0	0	0	1,278	175	0	1,453
その他(器物など)												
山田秀三文庫	48	0	0	48	0	0	0	0	48	0	0	48
久保寺逸彦文庫	40	0	0	40	0	0	0	0	40	0	0	40
小計	88	0	0	88	0	0	0	0	88	0	0	88
合計	29,168	1,652	337	31,157	677	0	38	715	29,845	1,652	375	31,872

凡例及び注

- ・収集(増加)点数は、受入点数から払出点数を差し引いた純増分(差し引き計算については当年度の「備考」欄に記載)である。
- ・文書資料及び写真資料の公開資料は紙焼き(プリントアウト)等により作成しており、資料の点数には算入していない。
- ・平成22年度における収集(増加)点数の内訳は、16ページを参照。



写真資料(フィルム)の保存と複製CD

フィルムは、原則として専用の保存用紙で包み、保存箱に入れて保存します。
フィルムの画像については、高解像度でスキャンしてデジタルデータ化し、CDで保存し活用を図ります。

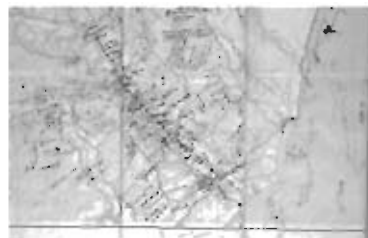
[寄贈を受けた貴重な資料]

アイヌ文化研究に大きな足跡を遺した山田秀三氏、久保寺逸彦氏の研究資料の寄贈を受け、アイヌ文化の学習、伝承、調査研究等に活用できるよう、保存・整理作業と公開準備を進めています。

【山田秀三文庫】

アイヌ語地名研究の第一人者である山田秀三氏（1899～1992年）の旧蔵資料です。平成6年に、ご遺族から寄贈を受けました。

- ・ 図書資料
地名研究、アイヌ文化、北海道・東北史関係の文献など。
- ・ 音声・映像資料
地名調査の記録、アイヌ口承文芸の記録など。
- ・ 文書資料
調査記録ファイル（現地調査を中心とした地名調査研究の記録）、地図、ノートなど。
- ・ 写真資料
現地調査時の撮影写真など。



文書資料（地図）

日高地方沙流川下流域の5万分の1地形図に、地名調査の記録などを書き込んだもの。



文書資料（ファイル）

日高地方沙流川下流域の地名調査の記録ファイル。日高町富川付近の調査記録。

【久保寺逸彦文庫】

アイヌ語・アイヌ口承文芸研究の第一人者で、アイヌの宗教儀礼等の研究にも大きな業績を遺した久保寺逸彦氏（1902年～1971年）の旧蔵資料です。平成9年に、ご遺族から寄贈を受けました。

- ・ 図書資料
アイヌ語、アイヌ口承文芸、アイヌ文化、言語学等に関する文献など。
- ・ 音声・映像資料
アイヌ口承文芸、宗教儀礼等を録音したレコード盤や聞き取り記録のテープなど。
- ・ 文書資料
アイヌ口承文芸、宗教儀礼等の筆録・翻訳ノート、原稿など。
- ・ 写真資料
聞き取り調査と並行して撮影された記録写真など。



音声資料（レコード）



写真資料

日高地方沙流川下流域での地名調査風景。山田秀三氏らの同行した地名調査の時のもの。

7 平成22年度事業実績

7-1 調査研究事業

[研究課題]

◆平成22年度に実施した研究課題一覧（開始年度順）

No.	研究課題名	研究期間	備考
1	道内各地に伝承されるアイヌ音楽のレパートリーおよび伝承状況に関する調査研究	H22～28	
2	アイヌ文化研究の基礎資料としての写真に関する調査研究	H22～24	
3	近代北海道のアイヌ教育史に関する調査研究 (私立学校や中等教育を中心に)	H22～24	
4	道北地域のアイヌ民族資料に関する調査研究	H21～23	
5	アイヌ史関係新聞記事資料に関する調査研究（渡島・檜山地方）と 「北海道内地域発行新聞アイヌ史関係記事データベース」の構築	H21～24	
6	アイヌ文化研究を側面から支えた人々の歴史に関する調査研究	H19～24	
7	道南地域のアイヌ民族資料に関する調査研究	H17～22	
8	カムイとアイヌの相互交渉に関する調査研究	H16～25	※期間を延長 (H22まで→H25まで)
9	学校と地域の歴史を通じた近代アイヌ史の調査研究	H14～22	※期間を延長 (H21まで→H22まで)
10	「山田秀三文庫」の整備と分析調査	H6～24	※期間を延長 (H22まで→H24まで)
11	アイヌ文化資料の内容分析(寄贈資料等)	H6～25	

◆参考 平成18～21年度に終了した研究課題（終了年次順）

1	アイヌ史関係新聞記事資料に関する調査研究（釧路地方）	H16-20	
2	十勝地方のアイヌ語の調査研究（文法・助詞）	H14-20	
3	鶴川地方に伝承されるアイヌの音楽についての調査研究	H17-19	
4	吉田巖関係資料の調査研究	H15-19	

◆研究課題にかかる主な成果発表（H21～22年度）

種別	年月日	表題（掲載誌・発表学会など）	摘要・備考
学会発表	2010(平成22)年 10月	「On the polyphonic singing styles in Ainu traditional music and some recent changes」 (第5回伝統的ポリフォニー国際シンポジウム)	研究課題「道内各地に伝承されるアイヌ音楽のレパートリーおよび伝承状況に関する調査研究」の成果の一部。
報告書	2010(平成22)年 3月25日	『「北東日報」「釧路新聞」掲載アイヌ関係記事(1901～1942年):目録と紹介 北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書6』	研究課題「アイヌ史関係新聞記事資料に関する調査研究（釧路地方）」の成果報告書。
資料紹介	2010(平成22)年 3月25日	「余市水産博物館のアイヌ資料」『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』第16号	研究課題「道南地域のアイヌ民族資料に関する調査研究」の成果の一部。
講演	2009(平成21)年 11月14日	「函館と近代アイヌ教育史—谷地頭のアイヌ学校から—」(キャンパスコンソーシアム函館公開講座「函館学2009」第7回講座/函館市:ホテル法華クラブ函館)	研究課題「学校と地域の歴史を通じた近代アイヌ史の調査研究」の成果の一部。
学会発表	2009(平成21)年 10月10日	「近代初頭の旧「和人地」を中心とした地域におけるアイヌ児童の就学状況について」 (教育史学会第53回大会)	研究課題「学校と地域の歴史を通じた近代アイヌ史の調査研究」の成果の一部。

[研究紀要]

◆平成22年度実績

【北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要】第17号

2011（平成23）年3月25日発行

B5判 148ページ 900部

関係機関等に配付、その他北海道行政情報センターにて
販売（有償頒布）を実施。



(目次)

- [論 文] アイヌ語千歳方言における推量の助動詞nankorの意味について（佐藤知己）
- [調査報告] 和人の散文説話—継母から殺されかけた姉を救った妹—（大谷洋一）
- [研究ノート] アイヌの魚皮衣—ロシアの博物館所蔵のアイヌコレクションから—（荻原真子、古原敏弘）
- [事業報告] 北海道立アイヌ民族文化研究センターにおける採録資料の公開について
（北海道立アイヌ民族文化研究センター研究課）

[研究職員の主な研究テーマと近年の研究成果]

研究主幹	
古原敏弘（こはら としひろ）	
〈主な研究分野／研究課題〉	
考古学、物質文化研究 北海道内・外諸地域のアイヌ民族資料に関する調査研究	
〈近年の主な研究業績〉	
◆著書・論文・研究ノート・調査報告・資料紹介・広報紙・書評など	
2011年3月	（共著）「アイヌの魚皮衣―ロシアの博物館のアイヌコレクションについて―」 （『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』17号、91～122ページ）
2010年3月	（共著）「アイヌのクマ送り関係資料概要―ペテルブルグの博物館所蔵品について―」 （『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』16号、117～142ページ）
2009年3月	（共編著）「長万部町教育委員会所蔵のアイヌ資料」 （『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』15号、57～84ページ）
2008年3月	（共編著）「北海道内の主要アイヌ資料の再検討」国立民族学博物館 （日本学術振興会科学研究費補助金成果報告書）
◆学会発表・講演など	
2009年3月	「渡島・檜山地方のアイヌ民族資料について」 （弁開颯次郎研究会平成20年度総会：八雲町・落部町民センター）

研究課長	
小川正人（おがわ まさひと）	
〈主な研究分野／研究課題〉	
近代アイヌ史、教育史 学校と地域の歴史を通じた近代アイヌ史の調査研究 近代アイヌ史の基礎的資料の収集・整備	
〈近年の主な研究業績〉	
◆著書・論文・研究ノート・調査報告・資料紹介・広報紙・書評など	
2010年3月	（編著）「『北東日報』『釧路新聞』掲載アイヌ関係記事（1901～1942年） ：目録と紹介 北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書6」 北海道立アイヌ民族文化研究センター
2008年3月	（編著）「吉田巖書誌 北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書4」
2007年10月	「『遊楽部学校』の歴史：1880～1890年代のアイヌ学校に関する実態分析のこころみ」 （『日本の教育史学 教育史学会紀要』第50集）
◆学会発表・講演など	
2007年11月	「函館と近代アイヌ教育史：谷地頭のアイヌ学校の歴史から」 （キャンパスコンソーシアム函館公開講座「函館学2009」第7回講座：函館市）
2007年6月	「学校ができ、そこに子どもが通う：近代アイヌ教育史における学校の問題」 （歴史学研究会2007年度大会近代史部会：東京都・東京大学）

研究職員

大谷洋一（おおたに よういち）

〈主な研究分野／研究課題〉

アイヌ口承文芸研究

アイヌの口頭伝承にみる、カムイとアイヌの相互交渉に関する調査研究
胆振東部から日高西部にかけてのアイヌ語諸方言と口承文芸

〈近年の主な研究業績〉

◆著書・論文・研究ノット・調査報告・資料紹介・広報紙・書評など

2011年3月 「和人の散文説話…継母から殺されかけた姉を救った妹…」
（『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』第17号、19～89ページ）

2007年4月 （項目執筆）「アイヌ文学」（大項目「アイヌ」のうち）『世界大百科事典』平凡社

◆学会発表・講演など

2009年6月 （講座）「アイヌ口承文芸を聞く」（企画展「語り、継ぐ。…アイヌ口承文芸の世界」
関連講座：札幌市・北海道立文学館）**研究職員**

甲地利恵（こうち りえ）

〈主な研究分野／研究課題〉

アイヌ音楽研究、民族音楽学

北海道内諸地域に伝承されるアイヌ音楽についての調査研究
アイヌの歌謡の旋律構造に関する調査研究

〈近年の主な研究業績〉

◆著書・論文・研究ノット・調査報告・資料紹介・広報紙・書評など

2009年3月 （編著）『鶴川地方に伝承されるアイヌの音楽についての調査研究
北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書5』2010年3月 「魔祓いの儀礼、および魔祓いに関連する歌や踊りについての聴き取り
：北海道立アイヌ民族文化研究センター採録音声資料より」
（『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』第16号、39～92ページ）

2007年4月 （項目執筆）「音楽・舞踊」（大項目「アイヌ」のうち）（『世界大百科事典』平凡社）

◆学会発表・講演など

2010年10月 「On the polyphonic singing styles in Ainu traditional music and some recent changes」
（第5回伝統ポリフォニー国際シンポジウム：グルジア共和国トビリシ市・トビリシ
国立音楽院）2010年7月 「アイヌ音楽の歌唱形式について…ポリフォニーの視点から…」
（2010年度北海道民族学会第1回研究会：札幌市・北海道大学）**研究職員**

澤井春美（さわい はるみ）

〈主な研究分野／研究課題〉

アイヌ語学、言語学

アイヌ語十勝方言の語彙、文法、口承文芸等に関する研究

〈近年の主な研究業績〉

◆著書・論文・研究ノット・調査報告・資料紹介・広報紙・書評など

2008年3月 「アイヌ語十勝方言の接続助詞 wa,tek,ahinne について」
（『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』第14号、55～87ページ）2006年9月 （編著）『アイヌ語十勝方言の基礎語彙集…本別町・沢井トメノのアイヌ語…
北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書3』

◆学会発表・講演など

7-2 資料・情報収集事業

[平成22年度収集＝受入資料点数]

◆平成22年度受入れ資料の内訳

整理区分		点数計	受入れ種別の内訳							
			購入	寄贈	管理換	複製		採録	その他	備考
						(公開用資料)	(その他)			
図書	単行本	300	132	168	0	0	0	0	0	
	雑誌	367	75	292	0	0	0	0	0	
	小計	667	207	460	0	0	0	0	0	
音声・映像	寄贈・購入・複製収集など	10	2	8	0	0	0	0	0	
	研究センター職員による採録	0	0	0	0	0	0	0	0	
	管理換	0	0	0	0	0	0	0	0	
	公開用	38	0	0	0	38	0	0	0	内訳は17ページ参照
	小計	48	2	8	0	38	0	0	0	
文書		0	0	0	0	0	0	0	0	
写真・その他		0	0	0	0	0	0	0	0	
計		715	209	468	0	38	0	0	0	

[道内に所在する貴重資料の整理・保存]

(平成17～22年度の事業実績)

◆平成17-18年度 伊達市噴火湾文化研究所資料所蔵ジョン・バチラーの保存作業と資料目録の作成

アイヌの人々に対するキリスト教の布教活動や教育・社会事業等で知られるジョン・バチラー及びその養女・八重子が所蔵していた図書、写真等のほか、八重子による筆録ノート等について、資料の概要を目録にまとめるとともに、ノート類のマイクロフィルム化を行いました。資料目録は『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』第12号及び第13号に掲載しました。

◆平成19年度 長万部町教育委員会所蔵音声資料の保存作業

長万部町教育委員会が所蔵している、1960年代前半に録音された、歌謡や口承文芸の録音テープ12点について、デジタルデータ（waveファイル、44Khz、16Bit）に変換しCD-Rに保存しました。

7-3 公開・提供事業

[平成22年度新規公開資料点数]

◆平成22年度 公開資料作成実績

種別		22年度に 公開準備を終えた資料		過年度分		累計	
		原資料の点数	作成した公開用 複製の点数	原資料の点数	作成した公開用 複製の点数	原資料の点数	作成した公開用 複製の点数
音声・映像資料	研究センター収集資料 (職員による採録等)	18	18	224	205	242	223
	山田秀三文庫	3	3	72	45	75	48
	久保寺逸彦文庫	10	17	61	87	71	104
文書資料	山田秀三文庫	7	—	67	—	74	—
写真資料	久保寺逸彦文庫	—	—	483	—	483	—

凡例及び注

・音声・映像資料における「作成した公開用複製の点数」とは、公開用に作成しているCDまたはDVDの枚数である。6ページの受け入れ資料点数はこの複製の点数によっている。(この数字と原資料の数とが合致しないのは、1点の原資料から2点以上のCDを作る場合や、2点以上の原資料を1点のCDにまとめる場合などがあるため。)

[インターネットホームページによる情報提供]

◆平成22年度の主な新規掲載情報

- ・公開している音声・映像資料および文書資料の「あらまし」「もくじ」を掲載。
- ・研究紀要掲載論文、調査研究報告書のPDFファイル掲載を追加。
- ・アイヌ文化に関する連載記事の掲載。
- ・その他行事の案内と報告、出版物の紹介等を掲載。

7-4 普及事業

[平成22年度広報媒体発行実績]

広報紙

【アイヌ民族文化研究センターだより】No. 33

2010（平成22）年9月発行

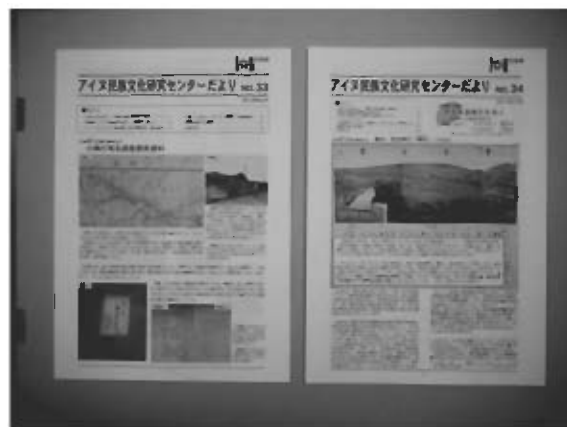
A4判 8ページ 1,500部

【アイヌ民族文化研究センターだより】No. 34

2011（平成23）年3月発行

A4判 8ページ 1,500部

いずれも関係機関に配付したほか、研究センター資料閲覧コーナー等にて希望者に配付。



年報

【北海道立アイヌ民族文化研究センター年報 2009（平成21年度）】

2010（平成22）年6月発行

A4判 20ページ 800部 関係機関に配付

[平成22年度普及啓発事業実績]

企画展

「アイヌ語地名を歩く—山田秀三の地名研究から— 2010・小樽／せたな」

小樽市総合博物館運河館 8月28日～10月3日 観覧者 3,863名

せたな町情報センター 9月11日～9月26日 観覧者 372名

講演会・講座

8月28日（土） 講座 「山田秀三文庫の小樽・積丹地方の地名調査資料について」

講師：古原敏弘・小川正人（研究センター職員）

小樽市総合博物館運河館 参加38名

9月4日（土） 講演会 「小樽・後志から、アイヌの歴史と文化をみる」

講師：佐藤知己（北海道大学教授）「北海道日本海沿岸のアイヌ語資料について」

田島佳也（神奈川大学教授）「場所請負の人びとにとっての森と海—余市の幕末から近代—」

小樽市運河プラザ 参加83名

9月11日（土） 講演会 「せたなから 地名・歴史・文化を考える」

講師：高木崇世芝（アイヌ語地名研究会）「北海道の河川図の歴史と太櫓川筋の河川図」

桜庭博（せたな町文化財保護審議会委員）「太櫓川の川筋図を読む」

佐々木利和（北海道大学教授）「秋田県にかほ市象潟のせたな町関係資料」

本田優子（札幌大学教授）「象潟にある「蝦夷方言藻汐草」

—フトロ場所の貴重なアイヌ語資料—

せたな町民ふれあいプラザ 参加105名

9月18日（土） お話と公演 「忍路の鯨漁歌」

お話：須摩トヨ（元忍路鯨場の会網元）・三浦一郎（忍路鯨場の会会長）

「山田秀三と忍路鯨場の会」

公演：忍路鯨場の会による鯨漁歌

小樽市総合博物館運河館 参加82名

展示解説図録

『アイヌ語地名を歩く —山田秀三の地名研究から— 2010・小樽／せたな』

2010年8月20日発行 A4判 16ページ 900部

◆平成22年度 利用実績統計

種別	人数・件数	備考（内訳等）	（参考）				
			21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
資料閲覧コーナー 来観者	85		105	109	130	127	154
公開用資料の 閲覧・視聴	19	上記の内数	48	25	40	26	15
閲覧・視聴資料 点数	29	※平成21年度から記録を開始	124	—	—	—	—
その他来訪者	256	関係団体の視察等	206	158	199	179	202
レファレンス(件数)	144	電話によるもの75、直接来訪44、 電子メール22、郵便・FAX3	174	126	124	153	157
刊行物、所蔵資料の 転載（件数）	6	アイヌ文化紹介小冊子の転載、 山田秀三文庫資料の転載など	3	1	1	1	2
ホームページ アクセス（件数）	13,096		17,390	19,226	18,421	15,469	23,878

◆研究センター平成22年度予算

（単位：千円）

区 分（内 訳）		22年度	21年度	20年度	19年度	
事業費	調査研究事業	2,836	3,387	3,307	3,651	
		(調査旅費等)	1,482	2,003	1,927	2,157
		(研究紀要の発行)	1,354	1,384	1,380	1,494
	情報収集・提供事業	4,097	5,292	5,759	6,284	
		(公開用資料の作成)	1,889	2,229	2,696	3,121
		(文献資料等の購入)	950	1,163	1,163	1,163
		(機材の整備)	400	400	400	500
		(パソコン等借上料)	858	1,500	1,500	1,500
	普及事業	(広報誌等の発行)	1,465	1,491	1,529	1,619
	小 計		8,398	10,170	10,595	11,554
維持運営費	維持管理費	(事務室維持費等)	2,073	1,971	23,626	23,979
	運営費	(一般事務費等)	1,209	1,528	1,537	1,942
	その他		7,707	7,499	7,499	7,772
	小 計		10,989	10,998	32,662	33,693
		19,387	21,168	43,257	45,247	

注：21年度の予算が20年度の半分以下となったのは、センターが道の庁舎に移転したことにより、維持運営費の維持管理費（事務室維持費等）が大幅に不要になったことによる。（20年度のセンター賃借料等 21,978千円）

8 参考資料

8-1 北海道立アイヌ民族文化研究センター条例

平成6年3月31日 条例第4号

北海道立アイヌ民族文化研究センター条例をここに公布する。

北海道立アイヌ民族文化研究センター条例

(設置)

第1条 アイヌ民族文化に関する調査研究等を行い、その成果の普及等を図り、もってアイヌ民族文化の振興に寄与するため、北海道立アイヌ民族文化研究センター（以下「研究センター」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第2条 研究センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	北海道立アイヌ民族文化研究センター
位 置	札幌市

(事業)

第3条 研究センターは、次の事業を行う。

- (1) アイヌ民族文化に関する調査研究及びその成果の普及を行うこと。
- (2) アイヌ民族文化に関する情報の収集及び提供を行うこと。
- (3) アイヌ民族文化に関する研究の支援を行うこと。
- (4) その他設置の目的を達成するために必要な事業

(規則への委任)

第4条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成6年6月1日から施行する。

8-1 北海道立アイヌ民族文化研究センター条例

平成6年6月1日規則第66号

(開館時間)

改正 平成10年3月24日規則第22号

第2条 北海道立アイヌ民族文化研究センター（以下「研究センター」という。）の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

北海道立アイヌ民族文化研究センター条例施行規則をここに公布する。

2 研究センターの所長（以下「所長」という。）は、前項の規定にかかわらず、研究センターの運営上特別の必要があるとき又は非常変災その他急迫の事情があるときは、閉館時間を変更することができる。

北海道立アイヌ民族文化研究センター条例施行規則
(趣旨)

第1条 この規則は、北海道立アイヌ民族文化研究センター条例（平成6年北海道条例第4号）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第3条 研究センターの休館日は、次のとおりとする。

- (1) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）

に規定する休日

(2) 日曜日及び土曜日

(3) 1月2日、同月3日及び12月29日から同月31日まで
2 所長は、前項の規定にかかわらず、研究センターの運営上特別の必要があるときは、休館日に開館することができる。

(臨時休館)

第4条 所長は、前条第1項に規定するもののほか、研究センターの運営上特別の必要があるとき又は非常変災その他急迫の事情があるときは、臨時に休館することができる。

(入館の制限)

第5条 研究センターの秩序を乱すおそれがあると認められる者に対しては、所長は、入館を拒み、又は退館させることができる。

(入館者の遵守事項等)

第6条 入館者は、研究センターの利用につき、この規則及び研究センターの管理に当たる職員（以下「研究センター職員」という。）の指示に従うほか、特に次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 施設、附属設備又はアイヌ民族文化に関する文書、記録その他の資料であって、研究センターが収集し、管理するもの（以下「研究センター資料」という。）を持損し、若しくは破損し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。

(2) 他の利用者に迷惑を及ぼし、又はそのおそれのある行為をしないこと。

2 所長は、入館者が前項の規定に違反し、研究センターの管理運営上支障があると認めるときは、当該入館者に対しては、研究センターの利用を制限し、又は退館させることができる。

(利用の制限)

第7条 所長は、研究センター資料の保存上支障が生ずると認められるときは、その利用を制限することができる。

(閲覧及び視聴の手続)

第8条 研究センター資料を閲覧又は視聴しようとする者は、あらかじめ、別記第1号様式の研究センター

資料閲覧・視聴請求票を所長に提出しなければならない。

(閲覧及び視聴の場所)

第9条 研究センター資料の閲覧及び視聴は、資料閲覧室又は研究センター職員の指定する場所において行わなければならない。

(複写の承認)

第10条 研究センター資料を複写しようとする者は、あらかじめ、別記第2号様式の研究センター資料複写承認申請書を所長に提出し、その承認を受けなければならない。

(複写物の出版及び出版物への掲載の許可)

第11条 複写物の全部又は一部を出版し、又は出版物に掲載しようとする者は、あらかじめ、別記第3号様式の研究センター資料複写物出版・掲載許可申請書を所長に提出し、その許可を受けなければならない。

(貸出し)

第12条 研究センター資料の貸出しは、行わないものとする。ただし、所長の許可を得たときは、この限りでない。

(補則)

第13条 この規則の施行に関し必要な事項は、所長が定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成10年3月24日規則第22号）

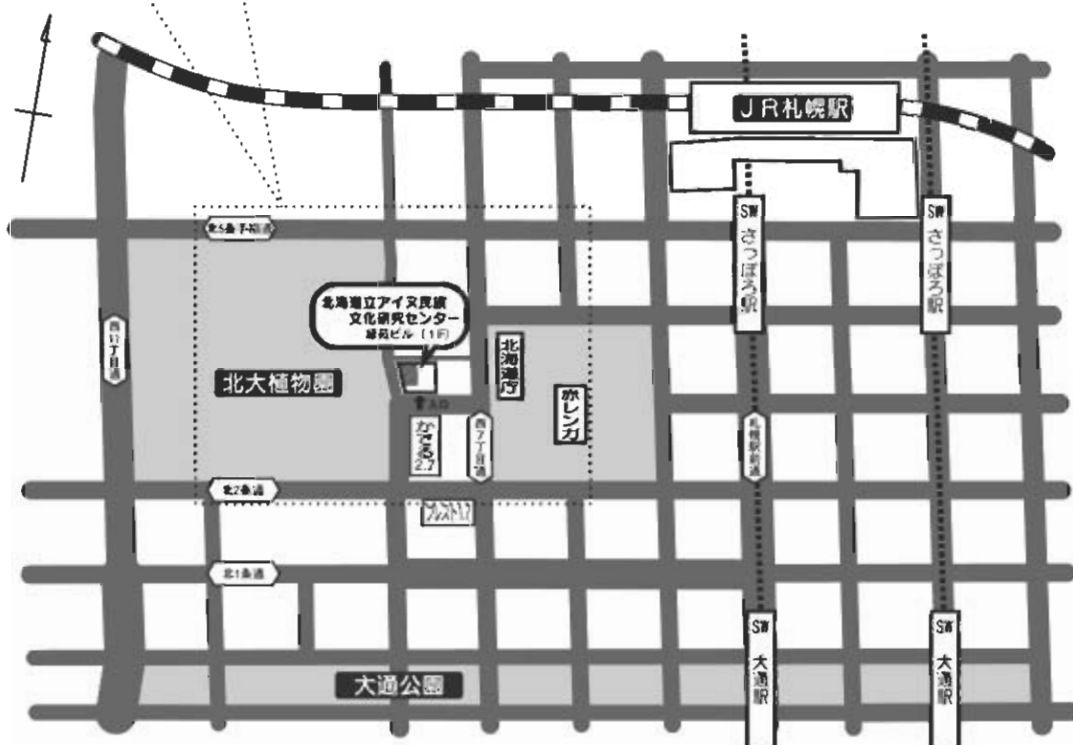
1 この規則は、平成10年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の規則に基づいて作成されている用紙がある場合においては、この規則による改正後の規則の規定にかかわらず、当分の間使用することを妨げない。

別記第1号様式（第8条関係）〔略〕

別記第2号様式（第10条関係）〔略〕

別記第3号様式（第11条関係）〔略〕



北海道立アイヌ民族文化研究センター年報 2010(平成22年度)

2011(平成23)年6月30日発行

編集・発行 北海道立アイヌ民族文化研究センター

〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目 緑苑ビル 1階

電話 011-272-8801~03 ファクシミリ 011-272-8850

<http://ainu-center.pref.hokkaido.jp/>

印刷所 株式会社 有仲商会 ☎011-814-6211

